

春之大祭 = お神輿巡行 担ぎ手・お稚児さん募集中!!

—太鼓車の引き巡行はどなたでも—

みんなでつくろう伝統行事
**ほりえ神輿を
かつぎましょう!**

どしどしご参加ください。
**かつぎ手大募集!!
大人も子供も集まれ。**

堀江・新町の通学路安全、商売繁盛、町の健全発展を祈願します。

日時：4月12日(日)
午後1:30~巡行(受付：正午より)
集合場所：寶生教大阪本部
(西区北堀江3-10-11 電話 06-6531-6722)
※お申し込みは、裏面項目に必要事項をご記入いただきFAXにてお願いします。

■予定巡行経路

お稚児さん大募集!
3歳位~8歳位の男女
大切なお子さまの健やかな成長をみんなで祈願
致しましょう。
**お稚児さん
稚児行列参加者募集中!**

●参加費：お一人様 5500円
※参加者 50名様になり次第メッキリさせていただきます。

同時開催

ご予約・お問い合わせ
(詳しく裏面をご覧ください)

寶生教 (※寶生教は神道です。)
西区北堀江3-10-11 HP <http://www.houseizan.or.jp>
電話：06-6531-6722

ようという議論なのですが、これで少子化が解決するとは到底考えられません。つまり、もっと根本的なことを考え直す必要があるのではないのでしょうか。

本来、男性の役割とは、働き収入を得てくること。そして女性は、家を守り、子を産み、育てて、家庭環境を整えるのが役割です。この様な役割が備わって

いるのは自然の摂理でございませぬ。男性が子を産むことは決して出来ませんし、反対に女性には出来ない事もございます。

この互いの性差を、よりシンプルに、自然な形で考えれば、現在日本が抱える少子化問題も改善できるのではないのでしょうか。

つまり、皆さんの信仰なす寶生教、神道精神を、国

が、国民が理解し、憲法や法律にも生かすことが出来れば、あらゆる問題は解決できるものでございます。

「安倍首相は少子化を「国難」と位置づけ、幼児教育・保育の無償化や待機児童の解消策など、女性の就業機会の増加に合わせ、仕事と育児が両立しやすい環境づくりを進めてきた。」

女性が仕事をされること

は悪いことではありません。ですが、専業主婦の社会的地位をもう少し見直すことが出来れば、より良い社会環境になるのではないかと感じます。

元且祭でもお話ししました、江戸時代の朱子学者、会沢正志斎の、

「世の人細故を挙げて大体を遺る」という言葉。

まさにこの言葉の通り、目先のことばかりとらわれて、大局が見えなくなるといふ現象が、国の政策においてもみられるということでございます。

どうぞ皆さんには、間違った考え方に惑わされず、神道の考え方にそった、正しい判断が出来る様に、知識も身に付け、日々をお過ごし頂ければと存じます。



発行所
宝生教大阪本部
大阪府西区北堀江3丁目10番
電話 06(6531)6722
FAX 06(6531)6152
◎ (非売品)

3月号

自家成立の
根源は和にあり
秩序の根源は
神祖崇敬より

ご教話 みずか 自らの民族・国・氏名・家族を 愛する心が大切

建国記念祭 (2月11日)



建国記念祭、ご教話の大阪本部長様

本日は建国記念祭、西播、養老各教会より、又本部教信徒の皆様、早朝よりようこそご参拝下さいました。今より何と二六八〇年前の今日、初代神武天皇が橿原宮に即位されたのが、私共の祖国、日本のはじまりでございます。

本日は、教会でも国旗を掲げ、先程は国歌「君が代」を斉唱致しました。「日の丸」を国旗、「君が代」を国歌と法律で定めたのは、実は割と近代で、明治時代なのです。

しかしそれ以前から、「日の丸」が国旗で、「君が代」が国歌として、日本人に愛されてきたのです。

ちなみに、「君が代」の出典は古今和歌集だと云われております。

では何故、国旗が必要で、国歌が必要なのか。申し上げるまでもございません。

昨年日本中が熱狂した、ラグビーワールドカップ。その日本代表選手たちが心の拠り所としたのが、やはり「日の丸」だったのです。

日本代表は出身が異なる選手が多く集まっておりますので、心の拠り所となるものがありません。

そこで、ニュージールランド出身の主将、リーチ・マケル選手は、「日本のために共に戦おう」ということで、他の選手に「日の丸」「君が代」を教えます。

ただ教えただけではなく、歴史的背景や、「君が代」のことは意味に至るまで、何と自身で勉強し、チームメイトに伝え、試合前には必ず斉唱しようと呼びかけたのだそうです。

その結果が、昨年の大健闘、大躍進であり、我々国民も大いに勇気付けられ、

心を支えになったのです。授、「愛国心」とは、一体何なのでしょう。その答えは「民族愛」です。

日本人は大和民族です。まずは、この民族を愛することが大切なのです。その

「地域愛」がなければ、自分たちの名前、氏名、家族への愛情も生まれにくいかも知れません。

これまで様々な偉人たちが日本国家を成長させる為に、発展させる為に大きな

「民族愛」がなければ、「郷土愛」も育ちません。「郷土愛」が育たなければ、「地域愛」も生まれません。

「民族愛」がなければ、二六八〇年、一度も王朝が代わらない、世界でも稀な、大変安定した国に生を受けたことは、非常に幸せなことでございます。

どうぞ、国に対する感謝を忘れず、自分たちが国家、社会、教えの為に如何に恩返し出来るかを考えながら日々を過ごされまして、更なる大きなご守護を授かられるものでございます。

建国記念祭
奉納神楽「浦安の舞」



ためには、自分たちの国の歴史を愛さなければなりません。

「国家百年の計は教育にあり」とよく云われます。これは、諸先輩方が歩んできた歴史を愛し、正しい歴史認識を誇りにして、未来へと歩んでいくためには、いかに歴史教育が大事かという事なのです。

貢献をなされました。そういった歴史の偉人たちの原動力も、「民族愛」が元だと云われております。

何よりも「民族愛」「愛国心」が大切。そして私達は寶生教を信仰する者です。教えを愛する心、家族を愛する心、そして自分たちの氏名を愛する心を、次の世代にもしっかりと育んで参りたいと存ずる所でございます。

春之大祭

大阪本部
四月十二日(日)

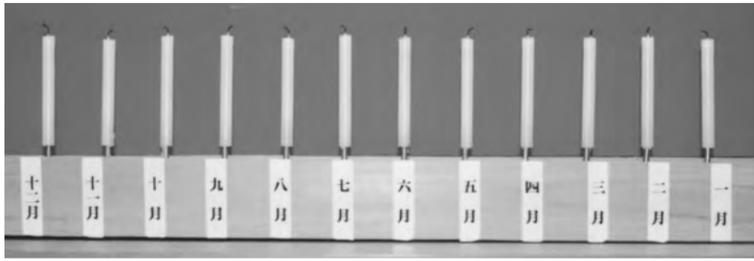
御本宮
四月五日(日)

養老教会
四月二十六日(日)

西播教会
四月二十九日(祝)

祭典 午前十時執行
神輿巡行 午後一時半出発

節分祭・五穀の
出来高を示すお蠟燭



今日は節分ということ、皆さん、恵方巻きはお召し上がりになりましたか。今年の恵方は、西南西。ではこの「恵方」とは一体どのような意味があるのでしょうか。

話 教 歳を重ねる事も幸せな事

節分祭 (2月3日)

お正月に、歳神様が山から里に降りてこられます。元々は、その歳神様が降りてこられる方を、恵方と呼んでいたのだそうです。時を経て、陰陽道が世に広まった頃、その年の福の神が居られる方が恵方だという考え方が、中国から伝わります。それが、今現在の恵方の考え方になっているわけなのです。お正月には「明けましておめでとう」と申します。これは、新年を迎えておめでたいから、ということに加えて、実は、先程申した歳神様から歳を一つ頂くことがおめでたいことなのです。「おめでとう」と申す



節分祭
祭主、祝詞奏上

話 教 少子化問題も自然の摂理を基本に。

祭 祖 (2月9日)

先日の産経新聞の一面に、「育児保証、給与八割に上げる」という記事が載っていました。どの様な内容かと申しますと、男性が育児休暇を取る割合が、全体の約6%しか

かないのだそうです。国としては、このまま少子化が進んでしまつては、国が大変なことになってしまつと危惧しております。これは、以前神話のお話でもしました様に、国民は増

やす努力をしなければならぬということ、我々も承知の事実です。その現状を打開する為、政府は、男性が育児休暇を取れば、女性がより安心して子供を産める社会が実現

するのでは無いかというところで、先程の表題の政策を考えたのです。現在未だ検討中で、実施はされておませんが、この様に新聞に取り上げられるという事は、おそろしく、いざ法律化されて世に出るものと思われま

政府は「男性が収入面で育児をまかしている現状を根本的に変える」(高官)ことで男女ともに育児に積極的に参加する環境整備を進める考えだ、とのこと

最も重要なのは、やはりご主人の収入です。現行の法律では、育児給付金は給料の五割。それでは少ないから、八割に上げまし

教会行事

三月 一日(日)	月並祭	午前10時
七日(土)	愛教婦人会総会	午前11時
八日(日)	御本宮月並祭	午前11時半
九日(月)	御本宮遙拝式	午前11時
十一日(水)	宝生会(滋賀CC)	午前10時
十五日(日)	月並祭	午後一時半
二十日(祝)	春之祖先霊大祭	午後一時半
二十二日(日)	祭典後、教信徒総会	
二十五日(水)	西播教会修行日	午前十一時、午後七時
二十八日(土)	修行日	午前十一時、午後七時
二十九日(日)	名古屋地区敬和会	
二十九日(日)	養老教会修行日	
四月 一日(水)	月並祭	午後七時
五日(日)	御本宮春之大祭	午前十一時半
八日(水)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(木)	修行日	午前十一時、午後七時
九日(木)	教祖祭	午後七時

三月 一日(日) 月並祭

七日(土) 愛教婦人会総会

八日(日) 御本宮月並祭

九日(月) 御本宮遙拝式

十一日(水) 宝生会(滋賀CC)

十五日(日) 月並祭

二十日(祝) 春之祖先霊大祭

二十二日(日) 祭典後、教信徒総会

二十五日(水) 西播教会修行日

二十八日(土) 修行日

二十九日(日) 名古屋地区敬和会

二十九日(日) 養老教会修行日

四月 一日(水) 月並祭

五日(日) 御本宮春之大祭

八日(水) 御本宮遙拝式

九日(木) 修行日

九日(木) 教祖祭

話 教 学べる環境に感謝し、夢を持って

祭 月並 (2月1日)

先日、一月二十五日は、故き祖父、真道翁之命の祥月命日でした。祖父の生まれた、現在の御本宮のある山梨県の山本家は、ご教祖の時代頃までは割と裕福な家庭だったそうです。ご教祖が村の道を真っ直ぐに整備されたり、教えの布教の為に財産を使われまして、祖父の子供時代には貧しい状況だったと伝え聞いております。その様な状況ですので、中学校の学費が払えないという理由で、祖父自ら、中学二年生で退学されました。のちに、十五歳で、単身ペルーへ渡り、二十歳まで洋服店で奉公され、実家の借金返済にも尽力された様です。祖父は生前、「勉強したかったね」と、よくおっしゃっていました。その様な事を思い出しておられますと、今日の産経新聞に、「夜間中学はいま」という特集を見つけた。その内容は、戦中戦後の混乱期、様々な理由で学校に通えなかった方々が、今再び学びたいという意欲で

夜間中学へ通っておられるというものでした。最近では日本人のみならず例えばシリアや中東地域から、難民として日本へやってきた人々が、かけこみ寺的に夜間中学で日本語を学ぶということもある様です。その様な現状を考えますと、学校に通って学ぶことが出来るというのが、いかに有り難く、幸せなことであると、感謝申し上げなければならぬと感じた次第であります。今日の産経新聞に、もう一つ興味深い記事がございました。今年一月にノーベル化学賞を受賞された、吉野彰さんの記事でございます。吉野彰さんは、旭化成に勤めながら、その研究所でリチウムイオン電池の開発に携わられました。この開発のお陰で、実は我々は様々な恩恵に浴しております。最も皆さんの身近にあるであろうものが、携帯電話のバッテリー。その他にも、あらゆる電化製品にリチウムイオン電池が使われております。

吉野さんも又、戦後のお生まれです。彼は、小学校の先生の勧めで、イギリスの学者フアラデーが書いた「ロウソクの科学」という本を読んで、科学に興味を持ち、科学の道へ進むきっかけとなったのだそうです。考えてみますと、夢や希望といったものの原動力となるのが、学問と云えるのかも知れません。現在日本では、中学校までが義務教育。ついつい、この現状に甘えてしまふのが人間です。高校、大学も行って当たり前と思つてしまいがちです。しかし、勉強が出来る環境にあることは、実は非常に奇跡的な、有り難い事なのだと感謝しなければなりません。今はちようど受験のシーズンです。日々大神様、ご祖先様にお参りなさること、は、申し上げるまでも無く大切な事です。しかし、常々申し上げております様に、各人の努力なくして成功はありません。それぞれがしっかりと努力を重ねた所に、それ以上の

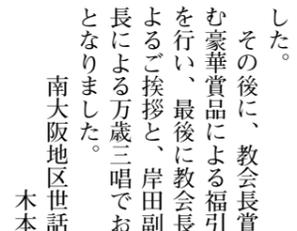
元号が令和に代わつて初めての、恒例の大阪近郊全地区合同敬和会が、一月二十五日(土)午後六時から大阪本部教会にて、権現家の皆様や教信徒合わせて六十余名の参加で盛大に開催させていただきました。まず三階の本殿で全員で参拝をさせて頂いた後、引き続き、昨年の十一月の敬和会で好評をいただいた、地元堀江でバランス治療院

健康に関する講演に 楽しい新年会と 有意義に。

大阪近郊全地区合同敬和会



第1部は御本殿で健康講座



第2部は修行殿で新年会。嬉しい福当りもありました。

を開院されている岡井康浩先生による、筋肉と健康な体の関係の講話と実践方法の第二弾を講演していただき、その場で皆で試させていただきました。講演終了後、場所を一階の修行殿に移して、新年会を始めました。急遽ピンヒッターを務めた三輪地区世話人による司会進行のもと、伊丹地区世話人長の挨拶の後、中谷総代様による発声で乾杯をさせていただきました。食事を頂きながら余興として、参加者皆でクラッカー大会・ビンゴゲーム・青年部による趣向を凝らしたゲームを、大いに楽しみました。その後に、教会長賞を含む豪華賞品による福引大会を行い、最後に教会長様によるご挨拶と、岸田副参事長による万歳三唱でお開きとなりました。南大阪地区世話人 本木吉彦

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日 午前十一時半より